

令和7年度 調布市立第七中学校 指導計画・評価計画表【2年 英語科】

観点 ① 知識考・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

単元指導	観点	単元の評価基準(学習評価)	具体的評価基準(おおむね満足はB)	評価方法・場面	弱点克服
共通	③	・振り返りシートを記入し、自身の成果や課題を把握し、自身の課題に合わせた学習に取り組もうとしている。	・Lesson ごとに振り返りシートを記入し、自身の学習状況を把握させ、学習に対する前向きな態度を評価する。 条件:学んだことや学んだことをどう活用しようとしているかを記入している。	・活動の観察 ・振り返りシート	・少人数授業 ・個別指導
Lesson I Meet New Friends	①	・助動詞 will の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・助動詞 will の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・be going to ...の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 ・be going to ...の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。	【知識】 助動詞 will / be going to ...の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (L) 助動詞 will などを活用して、部活動について話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R) 助動詞 will などを活用して、放課後の予定について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SP) 学校行事で楽しみにしていることについて、助動詞 will などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (SP) 学校行事の予定について、助動詞 will などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W) 学校行事で楽しみにしていることについて、助動詞 will などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W) 学校行事の予定について、助動詞 will などを用	定期考査 単元テスト ・活動の観察 ・課題提出	

			いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (R) be going to ...などを活用して、週末の予定について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SP) 週末の予定について、be going to ...などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W) 週末の予定について、be going to ...などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。	
	2		Will / be going to...などを活用して、文章の概要を読み取ることができる。 Will / be going to...などを活用して、文章自分自身について表現することができる。	
	2	ALT の先生に日本の学校について知ってもらうために、学校生活や行事について、詳しい説明や感想をつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。	ALT の先生に日本の学校について知ってもらうために、学校生活や行事について、詳しい説明や感想をつけ加えて、まとまりのある内容を話している。	・外国人講師による評価
	3		新しい ALT の先生に日本の学校について知ってもらうために、学校生活や行事について、詳しい説明や感想をつけ加えて、まとまりのある内容を話そうとしている。	
Lesson2 Fun with Books 接続詞	1	・接続詞 when や if を用いた文の構造を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・接続詞 when や if を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・接続詞 that を用いた文の構造を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・接続詞 that を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・〈be sure that ...〉を用いた文の構造を理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。	【知識】 接続詞 when や if を用いた文の構造を理解している。 接続詞 that を用いた文の構造を理解している。 〈be sure that ...〉を用いた文の構造を理解している。 【技能】 (L) 接続詞 when や if などを活用して、行事で使う持ち物について話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R) 接続詞 when や if などを活用して、おすすめの本について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。	・定期テスト ・パフォーマンステスト ・外国人講師による評価 ・活動の観察 ・課題提出

		・〈be sure that ...〉を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。	(SP) どんなときにどんな気持ちになるかについて、接続詞 when や if などを用いて、事実や自分の気持ちなどを話す技能を身につけている。 (SP) 小さいときに好きだった本について、接続詞 when や if などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W) どんなときにどんな気持ちになるかについて、接続詞 when や if などを用いて、事実や自分の気持ちなどを正確に書く技能を身につけている。 (W) 小さいときに好きだった本について、接続詞 when や if などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (L) 接続詞 that などを活用して、おすすめの本について話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R) 接続詞 that などを活用して、本の作者について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SP) おすすめの本や漫画、アニメ、映画などについて、接続詞 that などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (SP) 好きな作家や漫画家について、接続詞 that などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W) おすすめの本や漫画、アニメ、映画などについて、接続詞 that などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W) 好きな作家や漫画家について、接続詞 that などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (R) 〈be sure that ...〉などを活用して、見たことがある映画について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SP) 見たことがある映画について、〈be sure that ...〉などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W) 見たことがある映画について、〈be sure that ...〉などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。		
--	--	--	--	--	--

	2		接続詞を活用し、文章の概要を読み取ることができる。 接続詞を活用し、自分自身について表現したりすることができる。		
	2	イベントに参加するかどうかを決めるために、(目的や活動内容に着目し、) イベントの内容について話された案内を聞いて、要点を捉えることができる。	イベントに参加するかどうかを決めるために、(目的や活動内容に着目し、) イベントの内容について話された案内を聞いて、要点を捉えている。		
	2	提案する」「要望する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。	・買い物の場面で、商品を提案するために、商品の色や値段について事実などを整理し、Expressions など示された語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 ・買い物の場面で、好みに合った商品を見つけるために、自分の好みや要望について事実などを整理し、Expressions など示された語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。		
	2	◎本や物語を紹介するために、登場人物などについて、すすめる理由をつけ加えて、まとまりのある文章を書くことができる。	(W) 本や物語を紹介するために、登場人物などについて、すすめる理由をつけ加えて、まとまりのある文章を書いている。		
	3		(W) 日本語の勉強に役立ちそうな本や物語を紹介するために、登場人物などについて、すすめる理由をつけ加えて、まとまりのある文章を書こうとしている。		
Lesson3 My Dream 不定詞	2	経歴をまとめるために、(問題と解決策を整理し、)『捨てないパン屋』の田村陽至さんについて書かれた記事を読んで、概要を捉えることができる。	(R) USE Read のテキストと同様の長さ・内容の記事を読み、その概要を捉える問いに答えさせ、その出来を評価する。	・定期テスト ・パフォーマンステスト ・外国人講師による評価 ・活動の観察 ・課題提出	
		・to 不定詞の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・to 不定詞の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりする。	【知識】 to 不定詞の特徴やきまりに関する事項を理解している。 must ... / must not ... の意味や働きを理解している。 【技能】 (L) to 不定詞などを活用して、仕事の内容や技能を身につけている。		

	1	ることができる。 ・must ... / must not ...の意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 ・must ... / must not ...の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。	(R) to 不定詞などを活用して、パン店の課題とその原因について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SP) 特定の行動について、to 不定詞などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (SP) 食べ残しを減らすためにできることについて、to 不定詞などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W) 特定の行動について、to 不定詞などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W) 食べ残しを減らすためにできることについて、to 不定詞などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 R) must ... / must not ...などを活用して、ルールについて書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI) ルールについて、must ... / must not ...などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (W) ルールについて、must ... / must not ...などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。		
	2		不定詞などを活用して、文章の概要を読み取ることができる。 不定詞などを活用して、文章自分自身について表現することができる。		
	2	プレゼントを決めるために、(質問の答えに着目し、)相手の予定や好みについて話されたボイスメッセージを聞いて、必要な情報を捉えることができる。	(L) プレゼントを決めるために、(質問の答えに着目し、)相手の予定や好みについて話されたボイスメッセージを聞いて、必要な情報を捉えている。	・活動の観察 ・振り返りシート ・アンケート ・パフォーマンステスト	

				・外国人講師による評価 ・課題提出	
	2	スピーチコンテストに参加するために、自分が将来したいことや夢について、伝えたいことを整理し、理由やきっかけをつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。	(SP) スピーチコンテストに参加するために、自分が将来したいことや夢について、伝えたいことを整理し、理由やきっかけをつけ加えて、まとまりのある内容を話している。		
Lesson4 Safe Clean Water There is[are]~ 動名詞	2	海外の学校の生徒と情報交換をするために、身の回りの環境問題について、問題点と解決策を整理して、まとまりのある文章を書くことができる。	海外の学校の生徒と情報交換をするために、身の回りの環境問題について、問題点と解決策を整理して、まとまりのある文章を書いている。	・定期テスト ・パフォーマンステスト ・外国人講師による評価 ・活動の観察 ・課題提出 ・定期考査	
	1	・There is [are]を用いた文の構造を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・動名詞の意味や働きを理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・動名詞の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・have to ... / don't have to ...の意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 ・have to ... / don't have to ...の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。	【知識】 There is [are]を用いた文の構造を理解している。 動名詞の意味や働きを理解している。 have to ... / don't have to ...の意味や働きを理解している。 【技能】 (L) There is [are]などを活用して、町にある店や施設について話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R) There is [are]などを活用して、調査結果について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SP) 町にある店や施設について、There is [are]などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (SP) 飲み水を手に入れる方法について、There is [are]などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W) 町にある店や施設について、There is [are]などを用いて、事実や自分の考えなどを書く技能を身につけている。 (W) 飲み水を手に入れる方法について、There is [are]などを用いて、事実や自分の考えなどを書く技能を身につけている。 (L) 動名詞などを活用して、生活習慣について話された文の内		

			容を聞き取る技能を身につけている。 (R) 動名詞などを活用して、問題の原因や結果について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SP) 趣味や楽しいと思うことについて、動名詞などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (SP) 私たちの生活になくてはならないものについて、動名詞などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W) 趣味や楽しいと思うことについて、動名詞などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W) 私たちの生活になくてはならないものについて、動名詞などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (R) have to ... / don't have to ...などを活用して、発表の準備について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI) しなければならないこと(しなくてもよいこと)について、have to ... / don't have to ...などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (W) しなければならないこと(しなくてもよいこと)について、have to ... / don't have to ...などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。		
Lesson5 Visiting Australia 動詞(give)+A+B 動詞(call, make)+A+B	2	海外からの旅行者に町や地域を訪れてもらうために、おすすめの場所やイベントについて、複数の詳しい情報をつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。	海外からの旅行者に町や地域を訪れてもらうために、おすすめの場所やイベントについて、複数の詳しい情報をつけ加えて、まとまりのある内容を話している。	・パフォーマンステスト ・課題提出 ・定期考査 ・活動の観察 ・外国人講師による評価 ・小テスト	
	1	・〈動詞(show など)+A+B〉を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・〈動詞(show など)+A+B〉を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・〈動詞(call, make など)+A+B〉を理解し、それを含む	【知識】 〈動詞(show など)+A+B〉を用いた文の構造を理解している。 【技能】 (L) 〈動詞(show など)+A+B〉などを活用して、プレゼントについて話された文の内容を聞き取る技能を身に		

		文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・〈動詞 (call, make など) +A+B〉を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。	つけている。 (R) 〈動詞 (show など) +A+B〉などを活用して、名所について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI) プレゼントについて、〈動詞 (show など) +A+B〉などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (SP) 海外から日本に来た旅行者に紹介したい場所について、〈動詞 (show など) +A+B〉などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W) プレゼントについて、〈動詞 (show など) +A+B〉などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W) 海外から日本に来た旅行者に紹介したい場所について、〈動詞 (show など) +A+B〉などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 【知識】 〈動詞 (call, make など) +A+B〉を用いた文の構造を理解している。 【技能】 (L) 〈動詞 (call, make など) +A+B〉などを活用して、特定の場所の愛称について話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R) 〈動詞 (call, make など) +A+B〉などを活用して、名所について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SP) どんなどきにどんな気持ちになったか、〈動詞 (call, make など) +A+B〉などを用いて、事実や自分の考		
--	--	--	---	--	--

			えなどを話す技能を身につけている。 (SP) 建物や場所の愛称について、〈動詞 (call, make など)+A+B〉などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W) どんなときにどんな気持ちになったか、〈動詞 (call, make など)+A+B〉などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W) 建物や場所の愛称について、〈動詞 (call, make など)+A+B〉などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 【知識】 〈how+to+動詞の原形〉の意味や働きを理解している。 【技能】 (R) 〈how+to+動詞の原形〉などを活用して、(スタジオの)見学ツアーについて書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI) 料理の作り方や楽器の演奏の仕方について、〈how+to+動詞の原形〉などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (W) 料理の作り方や楽器の演奏の仕方について、〈how+to+動詞の原形〉などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。		
	2		〈動詞 (call, make など)+A+B〉などを活用して、文章の概要を読み取ることができる。 〈動詞 (call, make など)+A+B〉を活用して、自分自身について表現することができる。		
Lesson6		筆者の考えや気持ちをまとめるために、(事実と筆者の考	筆者の考えや気持ちをまとめるために、(事実と筆者の考え	・定期テスト	

Friends from Singapore 比較 ・比較級 ・最上級 ・同等比較 ・副詞の比較 Project 2 人気のあるもの調査	2	えや気持ちに着目し、) 海外から来た生徒が日本で学んだことについて書かれたメールを読んで、要点を捉えることができる。	や気持ちに着目し、) 海外から来た生徒が日本で学んだことについて書かれたメールを読んで、要点を捉えている。	・パフォーマンステスト	
	1	・形容詞の比較級・最上級 (-er / -est) を用いた文の構造を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・形容詞の比較級・最上級 (-er / -est) を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・形容詞の比較級・最上級 (more / most) を用いた文の構造を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・形容詞の比較級・最上級 (more / most) を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・同等比較 (as ... as ～) や副詞の比較級・最上級を理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 ・同等比較 (as ... as ～) や副詞の比較級・最上級を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。	【知識】 形容詞の比較級・最上級 (-er / -est) を用いた文の構造を理解している。 【技能】 (L) 形容詞の比較級・最上級 (-er / -est) などを活用して、国の面積について話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R) 形容詞の比較級・最上級 (-er / -est) などを活用して、国の特徴について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI) 都道府県の面積について、形容詞の比較級・最上級 (-er / -est) などを用いて、事実や自分の考えなどを伝える技能を身につけている。 (SP) 海外からの旅行者に伝えたい日本の魅力について、形容詞の比較級・最上級 (-er / -est) などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W) 都道府県の面積について、形容詞の比較級・最上級 (-er / -est) などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W) 海外からの旅行者に伝えたい日本の魅力について、形容詞の比較級・最上級 (-er / -est) などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。	・外国人講師による評価	
	2	海外から日本に来る生徒に紹介するために、日本のおすすめの食べ物について、情報を比較し、感想などをつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。	海外から日本に来る生徒に紹介するために、日本のおすすめの食べ物について、情報を比較し、感想などをつけ加えて、まとまりのある内容を話している。	・活動の観察	
				・振り返りシート	
				・アンケート	
				・パフォーマンス	

				テスト ・外国人講師による評価 ・課題提出	
Lesson7 Gifts from China 現在完了形 (経験用法)	2	海外からの旅行者にすすめるために、商品について、特徴を整理した上で説明を加えて、まとまりのある文章を書くことができる。	海外からの旅行者にすすめるために、商品について、特徴を整理した上で説明を加えて、まとまりのある文章を書いている。	・定期テスト ・パフォーマンステスト ・外国人講師による評価 ・活動の観察 ・課題提出	
	1	・現在完了形（経験用法）の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・現在完了形（経験用法）の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・現在完了形（経験用法）の疑問文・否定文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・現在完了形（経験用法）の疑問文・否定文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・〈tell + A + that ...〉を用いた文の構造を理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 ・〈tell + A + that ...〉を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 〈tell + A + that ...〉を用いた文の構造を理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。 ・〈tell + A + that ...〉を用いた文の構造を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。	【知識】 現在完了形（経験用法）の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 現在完了形（経験用法）の疑問文・否定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〈tell + A + that ...〉を用いた文の構造を理解している。 【技能】 (L) 現在完了形（経験用法）の肯定文などを活用して、これまでに経験したことについて話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R) 現在完了形（経験用法）の肯定文などを活用して、工芸品について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SP) 訪れたことがある場所とそこで経験したことについて、現在完了形（経験用法）の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (SP) 正月の過ごし方について、現在完了形（経験用法）の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W) 訪れたことがある場所とそこで経験したことについて、現在完了形（経験用法）の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W) 正月の過ごし方について、現在完了形（経験用法）の肯定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。		

			(L) 現在完了形（経験用法）の疑問文・否定文などを活用して、これまでに経験したことについて話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R) 現在完了形（経験用法）の疑問文・否定文などを活用して、工芸品について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SI) 経験したこと（経験していないこと）について、現在完了形（経験用法）の疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。 (SP) 海外からの旅行者に紹介したい食べ物や飲み物について、現在完了形（経験用法）の疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W) 経験したこと（経験していないこと）について、現在完了形（経験用法）の疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W) 海外からの旅行者に紹介したい食べ物や飲み物について、現在完了形（経験用法）の疑問文・否定文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (R) 〈tell+A+that ...〉などを活用して、工芸品について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SP) 過去のできごとについて、〈tell+A+that ...〉などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W) 過去のできごとについて、〈tell+A+that ...〉などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。		
	2		現在完了形を活用し、文章の概要を読み取ることができる。 現在完了形を活用し、自分自身の考えを表現できる。		

	3	海外からの旅行者にすすめるために、商品について、特徴を整理した上で説明を加えて、まとまりのある文章を書くことができる。	海外からの旅行者にすすめるために、商品について、特徴を整理した上で説明を加えて、まとまりのある文章を書くとしている。		
Lesson8 Rakugo Goes Overseas 現在完了形 (完了用法) (継続用法)	2	◎記事で取り上げられている人物の考えや意見をまとめるために、(考えや意見を述べる表現に着目し、)インタビュー記事を読んで、要点を捉えることができる。	【思考・判断・表現】 (R) 記事で取り上げられている人物の考えや意見をまとめるために、(考えや意見を述べる表現に着目し、)インタビュー記事を読んで、要点を捉えている。	・定期テスト ・パフォーマンステスト ・外国人講師による評価 ・活動の観察 ・課題提出	
	1	・現在完了形(完了用法)の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・現在完了形(完了用法)の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・現在完了形(継続用法)の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・現在完了形(継続用法)の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。	【知識】 現在完了形(完了用法)の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 (L) 現在完了形(完了用法)の肯定文・疑問文などを活用して、話し手の今の状況について話された文の内容を聞き取る技能を身につけている。 (R) 現在完了形(完了用法)の肯定文・疑問文などを活用して、イベントの詳細について書かれた文の内容を読み取る技能を身につけている。 (SP) 特定の行動をとったあとにすることについて、現在完了形(完了用法)の肯定文・疑問文などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (SP) 見たり体験したりしたことがある伝統芸能や武道について、現在完了形(完了用法・経験用法)の肯定文・疑問文などを用いて、事実や自分の考えなどを話す技能を身につけている。 (W) 特定の行動をとったあとにすることについて、現在完了形(完了用法)の肯定文・疑問文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身につけている。 (W) 見たり体験したりしたことがある伝統芸能や武道について、現在完了形(完了用法・経験用法)の肯定文・疑問文などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を		

			身につけている。		
			現在完了形を活用し、文章の概要を読み取ることができる。 現在完了形を活用し、自分自身の考えを表現できる。		
	3	◎記事で取り上げられている人物の考えや意見をまとめるために、(考えや意見を述べる表現に着目し、)インタビュー記事を読んで、要点を捉えることができる。	海外からの旅行者にすすめるために、商品について、特徴を整理した上で説明を加えて、まとまりのある文章を書こうとしている。		